

公益社団法人インテリア産業協会
平成28年度事業報告
(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

I 基本方針関連（概要）

年度当初に掲げた基本方針関連の事業の概要については次のとおりです。

- (1) 資格者(インテリアコーディネーター：IC、及びキッチンスペシャリスト：KS)の能力向上等のためのセミナーその他のイベントについては、全国9支部で75件実施しました。
- (2) インテリアの普及啓発関係では、三大都市地域を中心に12件の展示会事業を実施しました。また、一般生活者に向けたセミナーや若い世代に向けたインテリア普及啓発活動を全国で63件実施しました。
- (3) 広報関係においては、更新対象者や新規登録者に配布する「IC・KS読本」にて、協会ホームページで有益情報が得られることを案内するとともに、ホームページのスマートフォン対応化の改善により、一層の利用促進を図りました。また、メールマガジンについて、内容の充実に努めました。

II 個別事業

1. 教育・情報提供事業

1-1 IC・KSハンドブック等の書籍頒布

インテリアについて学ぼうとする者、ICまたはKS資格認定試験を受けようとする者等に対するの書籍頒布については、「インテリアコーディネーターハンドブック統合版」5刷版(上下巻2,500セット)の増刷を行い、頒布に供しました。また、「キッチンスペシャリストハンドブック改訂新版」については、予想を上回る数の注文があったため、8刷版(1,000部)を増刷し、頒布に供しました。

1-2 資格取得の学習等を支援する通信教育事業

通信教育事業については、IC・KS資格試験の受験を目指すなどインテリアについて学ぼうとする受講申込者に対して、次のとおり講座を実施しました。

- ① IC受験講座(総合/一次/実技):のべ332人(前年度373人)が受講しました。
- ② KS受験講座(総合/学科/実技):のべ155人(前年度190人)が受講しました。

1-3 能力向上等のためのIC・KS資格者へのインターネットによる情報提供

資格者へのメールマガジン配信は、定期配信を年間24回、会員企業・団体からの申請に基づく不定期配信を年間90回行い、資格者への情報提供の充実に努めました。

ホームページについては、資格試験などの必要な情報の更新を行うなど適切に運営しました。

2. 資格認定試験事業

2-1 IC資格認定試験

第34回IC資格認定試験を、次のとおり実施しました。

- ・一次試験 平成28年10月9日（日）
- ・二次試験 平成28年12月4日（日）
- ・試験会場 次の全国12地域
札幌、盛岡、仙台、高崎、東京、名古屋、金沢、大阪、広島、
高松、福岡、沖縄

合格者数等の結果は次のとおり。

■平成28年度（第34回）一次試験・二次試験別申請者・受験者・合格者の概要

【一次試験】(人)		【二次試験】(人)	
受験申請者数	9,688	二次受験対象者数	3,892(内:一次免除者1,452)
受験者数	8,328	受験者数	3,405(内:一次免除者1,131)
一次合格者数	2,560	二次合格者数	2,055
一次合格率	30.7%	二次合格率	60.4%

■合格者の推移

実施回 [年度]	受験者数 ^(注)	合格者数 (二次合格者数)	合格率
平成28年度 [第34回]	8,589	2,055	23.9%
平成27年度 [第33回]	9,154	2,063	22.5%
平成26年度 [第32回]	9,361	2,297	24.5%
平成25年度 [第31回]	9,605	2,362	24.6%
平成24年度 [第30回]	9,789	2,554	26.1%

注:一次・二次の試験を通じて、当該年度に資格取得まで目指した受験者数

2-2 KS資格認定試験

第29回KS資格認定試験を、次のとおり実施しました。

- ・試験日 平成28年12月4日（日）（IC二次試験と同日）
- ・試験会場 全国12地域（IC二次試験と同地域）

合格者数等の結果は次のとおり。

■合格者の推移

年度	申請者数			資格取得対象 受験者数	合格者数	合格率
	総合	実技・学科	総数			
H28年度(29回)	1,096	323	1,419	1,159	417	36.0%
H27年度(28回)	931	366	1,297	1,050	441	42.0%
H26年度(27回)	875	341	1,216	975	338	34.7%
H25年度(26回)	868	354	1,222	997	394	39.5%
H24年度(25回)	853	294	1,147	891	342	38.4%

3. 資格更新登録事業

3-1 登録更新業務の実施

定期的な I C・K S 資格者の登録更新業務を、資格登録システムを利用して確実に実施しました。連絡先住所不明者に対する登録メールアドレスによる住所照会、電話照会を引き続き行い、更新案内の徹底を図りました。

平成 28 年度の新規登録者を加えて、年度末における登録資格者数は次のとおりです。

- ・ I C 資格登録者数： 56,506 人（前年度末：55,629 人）
- ・ K S 資格登録者数： 8,486 人（前年度末：8,329 人）

3-2 更新者への情報の提供

資格者の活動に有益な知識・情報を盛り込んだ「I C・K S 読本」を最新化するとともに、平成 27 年度版で好評であった「インテリアトレンド情報」をページ拡充し、更新該当者全員に、更新案内に添えて提供しました。

3-3 資格者の就業状況等の実態把握調査

今後の資格者の育成等に役立てる基礎的情報を得るために行った「資格者基礎アンケート調査」については、I C・K S 更新予定者約 19,000 人に対して行いました。今後も継続実施し、調査結果を有効活用する予定です。

4. 講座等開催事業・I C 団体との連携・協力

4-1 能力向上・インテリア普及啓発講座等の開催

(1) 各地域の支部が実施の主体となり、開催内容により会員企業の参画や地域 I C 団体の連携協力を得て、I C・K S の能力向上及びインテリアの普及を目的とした講座・セミナー、講演会等を、全国各地で以下のとおり開催しました。

①北海道支部（12 件）

- ◇「北海道暮らしから育てるインテリアキャンペーン 2016」
（札幌、北見、旭川、帯広、釧路、函館、霜月の地域で開催）など

②東北支部（11 件）

- ◇「七宝焼きでつくるミニアート～伝統工芸を身近に～」
- ◇「デザインのちから～福島復興への思い～」セミナーなど

③関東甲信越支部（35 件）

- ◇「水戸まちなかフェスティバル」
- ◇「インテリアを楽しむセミナー」 など

④中部支部（25 件）

- ◇「2016 I C・K S インテリアフォーラム ～新人と集う～」
- ◇「トータルインテリアキャンペーン 2016」セミナーなど

⑤関西支部（10 件）

- ◇「第 2 回 J I I A-K A N S A I 文化フォーラム」
- ◇「センスアップセミナー&スキルアップセミナー」など

⑥中国支部（11 件）

- ◇「住文化フォーラム」
- ◇「I C・K S スキルアップセミナー」など

⑦四国支部 (7 件)

◇「スキルアップセミナー2016」(香川、愛媛、高知、徳島 計4回) など

◇「インテリアフェア2017イン高知」

⑧九州支部 (26 件)

◇「夏休み親子ワークショップ【親子で楽しもう! 小さなお部屋づくり】」

◇「インテリアフェスティバル イン九州2016」など

⑨沖縄支部 (3 件)

◇「タカさんのアートの見方・楽しみ方セミナー」など

(2) 高等学校のインテリア系学科などの生徒を対象に「出前授業」と称し、インテリアコーディネートやICの仕事などに関するセミナーを次のとおり行いました。

①中部支部 1 件 (名古屋市立工芸高校)

②中国支部 1 件 (宮島工業高校)

③九州支部 2 件 (長崎工業高等学校、鹿児島工業高校)

4-2 IC団体との連携・協力及びその活動支援

各地域のIC団体との連携・協力については、前述の各支部における講座開催事業において、テーマ募集・企画・実施を通じて連携・協力したほか、共同開催するなどして活動を支援しました。

5. 調査研究支援事業

IC・KS等が行う調査・研究への支援として、昨年同様、キッチン、インテリアにてテーマ公募・選定を行い、次のとおり全5件のテーマに対して活動資金を助成しました。

①応募テーマ数 13 件 (キッチン関係: 4 件、インテリア関係: 9 件)

②採択テーマ数 5 件 (キッチン関係: 3 件、インテリア関係: 2 件)

③採択テーマ名 (応募者)

【キッチン関係】

◇生涯食育社会を構築する快適キッチンのあり方

(PSS キッチンプロジェクト)

◇海外キッチン: デザインの変遷とトレンドを担うキッチンメーカー

(奥田公子)

◇『料理をつくる・食べる』を中心としたこころ安らぐコミュニティ空間の創造

(京都女子大学 家政学部生活造形学科 住環境研究会)

【インテリア関係】

◇超高齢化社会におけるインテリアのあり方・インテリアの知恵と未来

～インテリアと街づくりコミュニティ～

(愛知淑徳大学 松本ゼミ)

◇住空間のカラーユニバーサルデザイン 色を含む視覚情報を誰もが等しく共有するための調査・研究

(本間純子)

6. コンテスト事業

IC・KS資格制度の普及と資格者の能力向上を目的に、以下のコンテストを継続実施しました。昨年度に引き続き「作品集」および入賞作品を掲載した「年度型カレンダー」を制作して広く頒布し、事業の普及に努めました。

6-1 「住まいのインテリアコーディネーションコンテスト」

経済産業大臣賞、経済産業省製造産業局長賞の下付を受けて、次のとおり実施しました。また、「高校生部門」については、審査結果が就職や進学に生かせるように一般部門より実施時期を早めています。

【一般部門】

- ①応募受付期間 平成28年11月7日～11月24日
- ②募集内容（応募作品数）
 - ◇事例分野
新築部門（33） リフォーム部門（39） スタyling部門（24）
 - ◇課題分野
A部門「私だけのインテリア空間」（217）
B部門「グリーン（植栽等）を活かしたユニークなリビング空間」（66）
- ③応募総数 379作品
- ④審査結果 経済産業大臣賞1作品、製造産業局長賞1作品、会長賞2作品、部門賞5作品、優秀賞5作品、審査員特別賞5作品、合計19作品
- ⑤上位入賞作品一覧

■事例分野

受賞名	応募部門	作品名	入賞者(代表者)
経済産業大臣賞	新築部門	北庭の家	三宅 正浩
協会会長賞	リフォーム部門	「箱」を置く、というインテリア	長澤 浩二
部門賞	新築部門	ダブルリビングの家	甲村 健一
	リフォーム部門	長屋のリノベーション	吉永 規夫
	スタイリング部門	Urban SAFARI style	橋本 悠紀子

■課題分野

受賞名	応募部門	作品タイトル	入賞者(代表者)
製造産業局長賞	A部門	仕立屋 綴り	戸高 史
協会会長賞	B部門	植物を羽織る窓と暮らす	荒井 俊貴
部門賞	A部門	SAILING BLUE	TRAN PHUONG ANH
	B部門	暮らしのヒキダシ	石井 航太郎

【高校生部門】

- ①応募受付期間 平成28年7月7日～7月27日
- ②募集テーマ 元気の出るリビング空間
- ③応募総数 120作品（17校）
- ④審査結果 会長賞1作品、高校生部門賞1作品、優秀賞2作品、奨励賞4作品
合計8作品

⑤上位入賞作品一覧

賞名	作品名	入賞者氏名	所属高等学校	学年
協会会長賞	シースカイキューブ	森本 美咲	大分県立鶴崎工業高等学校	3年
部門賞	my memories	須藤 彩音	東京都立工芸高等学校	3年
優秀賞	Goodnight, tomorrow	堀川 真琴	秋田公立美術大学附属高等学院	2年
	Let's Party	小野 薫子	東京都立工芸高等学校	2年

6-2 「キッチン空間アイデアコンテスト」

「こんな人にこんなキッチン伝えたい」を全体コンセプトに掲げて、次のとおり実施しました。

①応募受付期間 平成28年9月1日～10月31日

②募集テーマ（応募作品数）

◇A 団らんキッチン空間（202）

◇B 人に優しい空間・地球に優しいキッチン空間（103）

◇C 暮らしが変わったキッチンリフォーム空間（33）

③応募総数 338作品

④審査結果 会長賞1作品、最優秀賞2作品、優秀賞7作品、奨励賞14作品
合計24作品

⑤上位入賞作品一覧

受賞名	応募テーマ	作品タイトル	入賞者(代表者)
協会会長賞	A	BOOKITCHEN	加賀山 加奈子
最優秀賞	B	COOK STATION	矢部 大成
	C	CURIOSITY	前野 慧
優秀賞	A	HOME BOOK KITCHEN	和田 夏未
	A	病院のキッチン空間	渡辺 ゆき乃
	A	築く。繋ぐ。省く。	松本 竜太
	B	学校朝活プロジェクト	東郷 由紀
	B	過疎地を救う！スーパーキッチン	飯塚 成実
	C	まちのキッチン	木村 慎弥
	C	ようこそ我が家の隠れ家食屋へ	花井 佳代

6-3 作品集および入賞作品カレンダーの制作

作品集、および上位入賞作品を掲載した年度型カレンダーを制作して、応募関連先や学校等に頒布しました。

①作品集

◇住まいのインテリアコーディネーションコンテスト作品集（2,500部）

◇キッチンアイデアコンテスト作品集（2,000部）

◇住まいのインテリアコーディネーションコンテスト高校生部門作品集（400部）

②カレンダー

◇住まいのインテリアコーディネーションコンテスト一般部門及びキッチン空間アイデアコンテストの統合版（300部）

◇住まいのインテリアコーディネーションコンテスト高校生部門版(300部)

7. インテリア普及啓発・展示会開催事業

7-1 展示会事業

本年度は本部・支部において、10件のインテリア関連展示会の主催、共催又は出展を行い、生活者向けインテリアの普及、資格者の能力・認知向上を図りました。

(1)本部が参画した展示会（5件）

①「DO！インテリア ～ワークショップを通じて知る色とインテリア～」

期間 平成28年10月～平成29年2月の期間内（のべ5日 10回）

場所 リビングデザインセンターOZONE内会場（7F）

内容 生活者参加型のインテリアに関連した小物作り等のワークショップとセミナー

形態 リビングデザインセンターOZONEとの共催

②「JAPANTEX 2016」

期間 平成28年10月26日（水）～28日（金）

場所 東京ビッグサイト西ホール

内容 主催者特別企画「JTEX TRENDS 2016」のトレンドカラー展示と並列して「IC YOKOCHO」を設置。

形態 （一社）日本ファブリックス協会との共同企画

③「トイレ・バス・キッチン空間フェア2016」

期間 平成28年10月26日（水）～28日（金）

場所 東京ビッグサイト西ホール

内容 KS資格紹介、キッチン空間アイデアコンテスト作品のパネル展示

形態 日本能率協会主催展示会への出展

④「エコプロ2016」

期間 平成28年12月8日（水）～10日（土）

場所 東京ビッグサイト東ホール

内容 「DO！インテリア ～ワークショップ～」

OZONEでの実施内容の抜粋編

形態 日本経済新聞社主催展示会への出展

⑤「ライティングフェア2017」

期間 平成29年3月7日（火）～10日（金）

場所 東京ビッグサイト西ホール

内容 ICと照明の専門家によるコラボレーション展示

「WHITE！&DARK」

形態 日本経済新聞社主催展示会への出展

(2) 支部が参画した展示会 (7 件)

① 東北支部

「こんな部屋いいな」 絵画コンテスト (第 14 回)

期間 平成 29 年 2 月 21 日 (火) ~ 26 日 (日)

場所 仙台 東北電力グリーンプラザ

内容 仙台市を中心にした宮城県下の小学生作品のコンテストと展示

形態 (公社) インテリア産業協会東北支部主催 宮城 I C 倶楽部協力
仙台市・宮城県各同教育委・NHK 仙台放送局、他後援

応募 1, 568 作品

② 九州支部 (2 件)

「こんな部屋いいな」 絵画コンテスト【鹿児島地域】

期間 平成 28 年 12 月 2 日 (金) ~ 5 日 (月)

場所 鹿児島市 オプシアミスミ 1 階イベント広場

内容 鹿児島市内の小学生絵画作品のコンテストと展示

形態 九州支部と鹿児島 I C 協会の共催 鹿児島市教育委後援

応募 2, 602 作品

「こんな部屋いいな」 絵画コンテスト【福岡地域】

期間 平成 28 年 6 月 21 日 (火) ~ 26 日 (日)

場所 福岡市 アクロス福岡

内容 福岡市内の小学生絵画作品のコンテスト入賞発表と表彰式

形態 九州支部と福岡 I C 協会の共催 福岡県・福岡市各同教育委後援

応募 610 作品

③ 中部支部 (2 件)

「第 46 回 建築総合展 NAGOYA 2016」

期間 平成 28 年 10 月 14 日 (金) ~ 16 日 (日)

場所 名古屋市内 吹上ホール

内容 インテリア普及事業紹介展示 関連セミナー

形態 愛知建築士会・中部経済新聞社主催に出展

「あいち住まいるフェア 2016」

期間 平成 28 年 10 月 14 日 (金) ~ 16 日 (日)

場所 名古屋市内 吹上ホール

内容 インテリアセミナー (今こそ、きちんとスマートライフ!)

形態 愛知ゆとりある住まい推進協議会・中日新聞社・中部経済新聞社主催に
講演協力

④ 関西支部

「リビング&デザイン 2016」

場所 大阪 A T C ホール

期間 平成 28 年 10 月 12 日 (水) ~ 14 日 (金)

内容 協会事業紹介・インテリア普及関係展示

形態 「LIVING&DESIGN2016」 実行委員会主催に出展

⑤沖縄支部

「第30回 沖縄トータルリビングショウ」

期間 平成28年10月14日（金）～16日（日）

場所 沖縄コンベンションセンター

内容 一般消費者向けのインテリア相談会、インテリアワークショップ

形態 沖縄タイムス社主催に出展

7-2 展示会以外のインテリア普及活動

(1) 中学校技術家庭科用のインテリア副読本の作成配布

中学生向けの「技術家庭科・副読本」については、例年と同様に全国の中学校950校に約149,000部を配布して、インテリアの普及を図りました。また、各校からのアンケート結果を参考に、ワークシートの使い勝手の改善を図りました。

(2) 高校家庭科(住まい関係)用の学習指導用DVD教材の配布

高校生向けの家庭科指導用補助教材として昨年制作したDVD「窓と窓装飾編」「照明編」を、全国約1,600校に配布しました。

(3) 地域の図書館と連携した一般生活者向けのインテリアセミナーの開催

各地域の公立図書館の協力による生活者向けのセミナーを次のとおり開催し、インテリアの普及とICの認知向上を図りました。

- ①北海道支部 2件（旭川市中央図書館ほか）
- ②関東甲信越支部 2件（新宿区立四谷図書館ほか）
- ③中部支部 2件（鳥羽市立図書館ほか）
- ④中国支部 1件（三次市立図書館）
- ⑤九州支部 1件（鹿児島市立図書館）

8. 交流活動

インテリア関連の業界団体、教育機関、学術団体等との連携、関連メディアとの交流を引き続き推進しました。

また、内閣府、経済産業省など関係官公庁との連絡を的確に行い、当協会の諸事業の適正な運営に努めました。

III 協会の組織運営

1. 協会本部に設置する委員会組織体制と主な活動内容

外部有識者や協会会員企業により委員会を構成し、協会各事業の実施・運営方針等を審議するなどの活動を行い、各事業を推進しました。

具体的には次のとおり。

(1) 運営委員会

本委員会では、平成29年度活動方針、同年度予算案等の審議を行い、事業計画・収支予算作成に反映するなど事業運営を推進しました。

(2) 情報・広報委員会

本委員会では、ホームページアクセス時の利便性向上のためスマートフォン対応を推進しました。

(3) IC資格制度検討委員会

本委員会では、IC・KSの新規資格取得者や更新対象者に配布している「IC・KS読本」の改訂に向けた編集方針などを検討しました。

(4) インテリア普及啓発委員会

本委員会では、展示会事業「住まいのコーディネーションコンテスト」の方針立案や実施推進行うほか、インテリア関係の調査研究助成のテーマ審査などを行いました。

(5) KS資格普及啓発委員会

本委員会では、「キッチン空間アイデアコンテスト」やKS等が行う調査研究への助成事業の審議・実施進捗管理を行なったほか、KS資格の普及を図るため企業向けKSアンケートを実施しました。

また、KSハンドブックの改訂に向けて企画編集委員会を立ち上げ、具体的な改訂内容の確定作業のため、改訂編集委員会を開催してハンドブックの改訂に着手しました。

2. 会員活動

2-1 協会への入会促進活動

協会ホームページや各種パンフレット等により定期的に広報を行うとともに、本部・支部の各種事業イベントを通じて、幅広く関連企業等に入会を働きかけました。

年度末時点の会員数は次のとおり。

◇年度末会員数：正会員数は177（前年度174）賛助会員は18（前年度22）

2-2 「会報」の定期的な発行

協会事業活動のタイムリーな情報を盛り込んで、年4回の会報を発行しました。

3. 広報活動

一般生活者やIC・KS資格者などに向けて、協会事業の認知向上を目的に、次のとおり広報・宣伝等を行いました。

3-1 協会ホームページの改善（スマートフォン対応の推進など）

ホームページアクセス時の利便性を向上するため、全ページについてスマートフォン等で閲覧できるよう改修しました。

3-2 セミマンスリーメールマガジンの内容充実

メルマガ配信を希望する全資格者に月2回送付しているセミマンスリーメールマガジンについて、昨今のインテリア小物情報などを新たに記事に含め内容を充実しました。また、スマートフォン閲覧にも対応した専用ページを立ち上げ、記事で紹介した各小物について画像でも見られるよう情報提供方法を改善しました。

4. その他

KS資格者を採用あるいは利用していたり、そのような需要が見込まれる企業を対象にして、アンケート調査を実施し、KS資格の認知度や活用状況等の実態把握により、KS資格の普及や資格試験の改善に結びました。

以上